

# 集団指導1級模擬授業 実技の前に留意すること

公益社団法人全国学習塾協会

集団指導1級試験評価チェックシートをよくお読みください。そして、自習用DVD映像を参考に行動の実際を習得してください。

何をどのように評価されるのかがわかります。

有無法、減点法など採点方法の違いを理解して、パフォーマンスしてください。

## 加点法の例

	問 題	やや 問題	基本 水準	十分 充足
<b>B. 学習内容を理解させるための行動</b>				
<b>1. 適切な説明・発問・例示</b>				
・例示の説明（発問を含む）の回数・タイミングが適切である	0	-	3	4
・生徒の理解の定着を図るために工夫された説明（発問）がある	0	-	3	4
<b>2. 生徒の理解確認</b>				
・生徒の理解度を確認するための行動（発問や配慮）を実施している	0	-	4	6
・対象者の表情や姿勢、応答などから理解度を解釈し、確認している	0	-	4	6
<b>3. 説明・発問・確認・対応の流れ</b>				
・説明（発問を含む）・確認・対応の流れが理解を促すために適切である	0	-	4	6
・特に授業の要点などが明確にわかるように説明している	0	-	4	6
<b>4. 生徒の応答に対する対応</b>				
・生徒の応答を想定した配慮がなされている	0	-	3	4
・確認したことを活かした説明ができています	0	-	3	4

【集団指導1級】評価マニュアルに採点方法の詳細が書かれています。

「基本水準」レベル（2級相当）を想定し、それを上回ると評価できる場合には、「十分充足」レベルに加点。

「導入」「展開」「まとめ」など授業構成や時間のルールが示されています。間違いのない構成をしてください。

学習塾講師検定は、いわゆるフリー演技ではありません。自動車免許の試験コースのように決められたルールの中で、求められるパフォーマンスを発揮いただくものです。

